

PFC ホールディングス株式会社への出資について

～産地貯蔵を具備する新たな生産販売事業を通じた、国産青果物の安定販売に向けた取り組み～



アグリビジネス投資育成株式会社（取締役代表執行役：松本恭幸、以下「弊社」）は、このたび、国産青果物の産地貯蔵を具備する新たな生産販売事業（PFC〔プラットフォームセンター〕事業）に取り組む PFC ホールディングス株式会社（代表取締役社長：堀内 達生、以下「PFC ホールディングス」）に対して、出資しましたのでお知らせいたします。

PFC ホールディングスは、株式会社ファーマインド（代表取締役社長：堀内 達生、以下「ファーマインド」）が PFC 事業を推進すべく設立した持株会社です。その傘下には、PFC ホールディングスと全国農業協同組合連合会（代表理事理事長：野口 栄、以下「JA 全農」）が共同出資する PFC 長野株式会社と、PFC ホールディングスが設立した PFC 茨城株式会社を有しています。青果物の産地・消費地物流における共同配送や、物流拠点の相互利用等を目的に、ファーマインドと JA 全農の業務提携によって推進されている PFC 事業は、両社グループが相互に持つ物流・販売などの総合的な流通プラットフォーム活用によるシナジーを最大化し、青果流通の効率化による国内農業生産支援と、消費者への高品質な青果物の安定供給の実現を目指しています。PFC ホールディングスは本件による調達資金を、青果の予冷・貯蔵機能及びパッケージなどの付加価値機能を備えたプラットフォームセンターの設置及び運営に充てることで、PFC 事業を拡充していく計画です。

弊社は 2002 年 10 月の設立以来、農業法人の財務、経営、事業を支援すべく、600 社を超える出資とその後の育成事業を行って参りました。2022 年 2 月には、改正された「農林漁業法人等に対する投資の円滑化に関する特別措置法」（以下「改正投資円滑化法」）に基づき、投資対象とする事業領域を漁業・林業法人、国内外の「食のバリューチェーン」に参加する広範な企業、ベンチャーまで拡大いたしました。本件は改正投資円滑化法の適用案件であり、国産青果物流通を改革する関連企業への投資です。

我が国の農林水産業は需要供給の両面で縮小傾向にあり、支えてきた地方も衰退傾向にあります。弊社は農林水産業を中心に展開する食のバリューチェーンの生産性と競争力を高め、付加価値化や新たな市場開拓で需要を拡大し、その結果として農林水産業と食品関連産業の成長産業化と地方再生の達成を目指します。

また、弊社は本件出資を通じて、農林水産業を取り巻くサステナビリティの課題である気候変動や、環境保全等の環境・社会課題について、当社と継続的な連携・対話を行い、課題解決に貢献してまいります。引き続き弊社は、出資機能を通じて環境・社会課題の解決に貢献し、SDGs の実現をはじめとするサステナブル経営を推進いたします。

【本件に関するお問い合わせ先】

アグリビジネス投資育成株式会社 総務部 中原 TEL：03-5577-6377